さいしん

第 30 号

2009 年 11 月 29 日発行

袴田巖さんの再審を求める会　会報

年間会費：3000 円／郵便振替口座番号：00120-3-410592 ／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会
ゆうちょ銀行 〇一九 店 当座 019-0410592 ／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会
〒 101-0061　東京都千代田区三崎町２－２－１３　三崎信愛ビル 502 号
FAX：０３－３２３８－０７９７
ホームページアドレス：http://plaza.rakuten.co.jp/hakamadajikenhp/
E-mail：hakamada.saishin@gmail.com

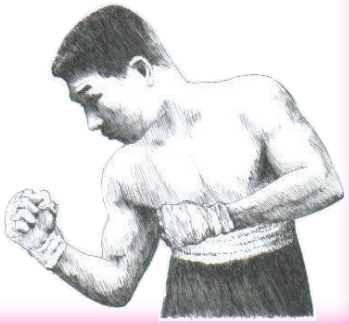
速報!!

11・27
ひで子さん・弁護団・支援者合同で
新政権に初の要請行動実施！

Free Hakamada Now!
袴田巖さんは無実だ！

●2009/9/30、10/21、11/16、11/26

面会報告！





GO!AHEAD!

Contents

○速　　報	千葉法務大臣宛の署名と要請書を提出！	福田 ……	2
○報　　告	面会報告	福田 ……	3
○報　　告	9 条フェスタ 2009 でブースを出しました。	校條 ……	5
○レポート	『響かせあおう 死刑廃止の声 2009 裁判官の証言 誤判は避けられない !』の集会に参加してきました。	江口 ……	6
○レポート	「無実の死刑囚を救う」アムネスティのデモに参加しました。	荒井 ……	7
○レポート	宗男節が炸裂 ! 救う会公開学習会 PART16	福田 ……	8
○書籍紹介	『冤罪はいつまで続くのか』	福田 ……	9
○お知らせ	『週刊実話』で袴田事件を題材にした小説が連載開始 !	福田 ……	10
○Ｔシャツ	「Free Hakamada Now !!」・・・その願いを込めて	鐘百繊維工業	11
○活動報告	活動日誌、活動予定、編集後記	求める会事務局	12

千葉法務大臣宛の署名と要請書を提出！

速報!!



共同代表・福田勇人

11 月 27 日 (金)、ひで子さん・弁護団・ボクシング関係者・熊本元裁判官・4 支援団体の代表が法務省を訪れ、千葉法務大臣に宛てた、袴田巖さんの死刑執行停止と病院移送を求める 82925 筆の署名と要請書を、刑事局長・矯正局長に提出しました。詳細は次号に掲載しますのでお楽しみに ! ■



要請に同行した民主党の松岡徹参院議員 (右) と牧野聖修衆院議員



西川刑事局長 (右奥) と尾﨑矯正局長に署名を手渡すひで子さんと大橋秀行東日本ボクシング協会協会長



面会報告

共同代表 福田勇人

● 2009 年 9 月 30 日 (水)

午後 2 時前、新田さんと 2 人で受付。私は面会申出書の目的欄に「再審準備のため」と記入して提出したが、「東京拘置所の決定」で面会不許可。新田さんだけが 10 階面会室で午後 2 時 15 分ごろから約 15 分間袴田さんと面会。

以下、新田さんからの報告要旨。

袴田さんの様子は、割りとすっきりした雰囲気で健康状態は良さそう。袴田さんからは、「自分の本名はアラカルト本尊で、コペンハーゲンにいたときからずっとその名前を使っている。」、「儀式は終わったから、支援も差し入れも必要ない。」、「本当は 6 回食事が必要だ。それを 3 回しかしないからみんな死んでいってしまう。」、「運動はしている。今日やったかは忘れた。」、「看守とは社会的な話をする。」などの発言あり。

また、臨床心理士のアドバイスを参考にして、今回からあまりメモを取らずに会話に集中するように努めた。

「支援は必要ない」と言われ、少しさみしい終り方だった。

差し入れは、ボクシングマガジン 10 月号、ボクシングビート 10 月号、お花。

● 2009 年 10 月 21 日 (水)

午後 2 時、ボクシング協会の新田さん、真部さんと 3 人で受付。前回同様私は面会申出書の目的欄に「再審準備のため」と記入して提出したが、今回も「東京拘置所の決定」で面会不許可。理由を尋ねたところ外部交通区長から、概要「裁判の準備による面会は弁護士資格のある人だけに認めている」との説明を受ける。真部さんも「東京拘置所の決定」で面会不許可。

新田さんだけが 10 階面会室で午後 2 時 50 分ごろから約 20 分間袴田さんと面会。

以下、新田さんからの報告要旨。

袴田さんは上下グレーのスエット。耳の具合は良さそう。袴田さんからは、「袴田という人間は存在しない。」、「自分の名前は神だ。アラカルト本尊から位が上がった。」、「新時代のインドの自由な神の世界『とうぼらり』で仕事をしている。」、「全ては終わった。」、「神の世界にもボクシングはある。」、「練習は夕方 1 時間ぐらい、ロードワークは 30 分くらい仲間と一緒に走る。」、「自分は打たれない。血で戦っているから疲れない。」、「自分を尊敬しなければいけない。」などの発言あり。

『週刊実話』で始まった連載小説をアクリル板越しに見せたが、やや困惑した様子。

映画を作る話もして、俳優へのメッセージを求めたところ「自分には関係ないが、神に祈ることだ。祈れば死もない。」と話し、「祈り」という言葉がたくさん出た。

シャドーボクシングを見せたりして、ボクシングの話に反応が良く、割りと楽しく会話できた印象。

差し入れは、ボクシングマガジン 11 月号、ボクシングビート 11 月号、新田ジム興行チラシ、週刊実話 10 月 22 日号、お花。

● 2009 年 11 月 16 日 (月)

ひで子さんからの報告によれば、この日は、来年 2 月放送予定の NHK 教育テレビ『ETV 特集』の取材を兼ねて午後からひで子さんと免田栄さん (「免田事件」冤罪被害者) の 2 人で受付。免田さんの面会は不許可だったため、ひで子さん一人で面会。袴田さんはとても元気そうだったが、「今日は 1 月 13 日だ。」、「今月末には出られる。」などと発言。相変わらず辻褄の合わない話が多かったとのこと。

● 2009 年 11 月 26 日 (木)

午後 2 時 20 分、新田さん、熊本典道さん、夏井辰徳さん (映画製作関係者) の 3 人で受付。「東京拘置所の決定」で熊本さんと夏井さんは面会不許可。新田さんだけが 10 階面会室で午後 2 時 55 分ごろから約 15 分間袴田さんと面会。

以下、新田さんからの報告要旨。

袴田さんは、顔がふっくらした印象で顔色も良かった。

「最近ひで子さんと会ってますか？」との質問に対し、「これを差し入れしてもらったんだ。」と新しいベストを嬉しそうに見せて話す。その他「体調はすこぶるいい。」、「ボクシングは昔すごく人気があった。ただファイトマネーは 10 万円で安かった。世界王者で 300 万位。」、「青い大豆を食べるといい。とにかく栄養を取らないといけない。」「名前は『本尊ちんりきちんしゃく･･･』で、自分は無限歳だ。」などと発言。

一緒に面会を申し込んだ熊本さんのことを話すと、「何か聞いたことある名前だ。」と言い、「また来たいと言っていますよ。」との問いに、「ああそうか。」と反応。前回雑誌の連載小説の話をしたときやや嫌悪感を見せたので、今回はあまり熊本さんの話はしなかった。

差し入れは、ボクシングマガジン 12 月号、ボクシングビート 12 月号､週刊実話 12 月 10 日号、お花。

なおこの日はフリーライターの渋谷淳さんが同行したほか、映画製作関係者による撮影と双葉社・共同通信社の取材があった。■





面会を許可されず落胆する熊本元裁判官 (左) ら

9条フェスタ2009でブースを出しました。

共同代表 校條　実

2009.11.15(日)11:00 ～ 17:30 大田区産業プラザPiO(京急蒲田駅前)

大田区は京急蒲田駅からほど近いところ、大田区産業プラザPiOで、「5th輝け９条！世界へ未来へフェスティバル2009」が開催されました。

袴田巖さんの再審を求める会は一昨年に引き続き、９条フェスタに参加することになりました。

昨年は一部屋借りての展示と日本の再審制度を問いかけるシンポジウムでしたが、今年は机でのブースアピールとなりました。

メンバーの荒井さんが10月10日のアムネスティのデモに合わせて作られた横断幕をバックに掲げ、書籍と袴田巖さん支援Tシャツを販売しました。

Tシャツは新デザインもお目見えし、鐘百さんも頑張っておられます！

さらに富山の冤罪事件の本、「『ごめん』で済むなら警察はいらない ―冤罪の『真犯人』は誰なのか―」（桂書房）も一緒の机で売ってたので、著者の柳原浩さんがブースを訪れてくれました。柳原さんの事件は、柳原さんが無実で服役した後に真犯人が現れるという経過をたどり、現在柳原さんは国家賠償訴訟を提訴中です。

さらにさらに、今回はお隣に「無実の死刑囚・元プロボクサー袴田巖さんを救う会」のブースが並び、袴田巖さん支援の在関東の二団体が机を並べてのアピールとなりました！

他にもJR浦和電車区事件、JR蒲郡駅事件、御殿場少年事件、布川事件等々、冤罪事件のブースが並びました。（抜けがあったらごめんなさい。）

他にも世界とつながる様々な団体や人たちのたくさんのブースがあり、本当に世の中は大変だとつくづく私は感じるのでした。

世界中で人間は間違いを犯している。でもそれを修正することはできるはず。大人は子供に間違えたら正しなさいと教えてはいませんか？

ボクも間違いを犯すことぐらいあります。そして間違えたら、「はい間違えました」といい、次は気を付けようということを、親から、大人から学んだと思う。そして今、ボクが子供たちにそう教えている。

大人でも子供でもなかなかごめんねが言えなかったりすることがある。でもね、子供たちに教えてる以上、ボクもできるだけそれができる大人になろうとしている…かな？（苦笑）

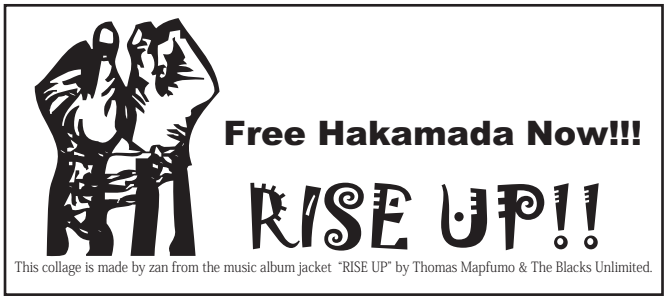
日本の裁判所が警察が検察が、それを一番できないのが残念だ。日本の裁判所の偉い方は子供に「犯行着衣のズボンがはけなくても犯人だよ」と教えるのであろうか？

間違えたら間違えましたって言おうよ。そしてなんとか間違わない方法をみんなで考えようよ。再審制度ってそのためにあるんじゃないのかな？

■



袴田巖さんの再審を求める会のブースと柳原さん（左端）



『響かせあおう 死刑廃止の声 2009 裁判官の証言 誤判は避けられない!』の集会に参加してきました。

江口

● 2009 年 10 月 10 日（土）

「袴田巌さんの再審を求める会」の事務局メンバー２名で参加してきました。受付で他の活動グループのビラや冊子と共に『さいしん』第 29 号を集会参加者に配布させていただきました。

集会･プログラム３番目に、その１として「足利事件と飯塚事件」のテーマで足利事件の佐藤博史弁護士と菅家さんの報告がありました。

17 年前のあの当時、科警研が行なった菅家さんの DNA 鑑定結果は、足利事件と同じ時期に起きた福岡県の飯塚事件で起訴された久間さんの DNA 鑑定結果と同じ型だったそうです。(当時はなんという未熟な鑑定だったのか !)

そして、その後 2008 年 10 月 17 日の朝日新聞「足利女児殺害 高裁 DNA 鑑定へ」の報道があり、無実を訴えながらも死刑確定していた久間さんもそれを知り得ていたことでしょう。しかし、その直後 10 月 28 日に死刑執行されてしまったのです。「刑務官はその新聞報道について、久間さんによかったねと言ったかもしれない。だが死刑執行命令が出てしまい、刑務官はものすごく戸惑っただろう。法務省は殺人マシーンになってしまっている」(佐藤弁護士)

足利事件の証拠物は、7 年間常温保存されていましたが、以降裁判所の決定が出て、マイナス 80 度で保管するようになり、かろうじて再鑑定できたそうです。更に佐藤弁護士からは、取調べ録音テープを再審の法廷へ出して公表していく決意が語られ、「(録音テープは) 最高裁の検証チームの中で録音テープがあるのに気が付いた。今検察がおかしくなっていると思っている裁判官もいる。菅家さんは取り調べのなかで３件も自白させられてしまっている。一歩間違ったら死刑にされたかもしれない。」・・・・と、佐藤弁護士の熱い言葉が続き、熱い弁護士の姿がありました。

その２として「元裁判官アンケート」の報告がありました。元裁判官の方々に「裁判員制度と死刑に関するアンケート」を行なったところ、回答者の８割は「誤判は避けられない」と考えているそうです。その結果をふまえて、元裁判官の木谷明さん、井垣康弘さん、生田暉雄さんによって日本の司法と死刑についての考えが語られました。

各氏の発言のなかで私なりに印象に残った内容を報告してみます。

「私は慎重に裁判官をしてきたが、振り返ってみて (誤判を) 全くしていないとは言い切れない。あの裁判は？というのはないが､大丈夫だったか？と心配している。」(木谷氏)

「驚いたのは、元裁判官の多くが死刑制度反対のことです。勇気づけられた。」(井垣氏)

「~< 略 >~『自白』で心証をとってしまう裁判官は恐ろしい。私は『自白』の中味に気が付くが」(木谷氏)

「裁判官はどこまでも自信が強い。自分の出した判決が以後破棄されても反省しない」(木谷氏)

「刑事裁判をやっていたら裁判官は堕落していくと思っている。裁判官の多くは被告を上から見ている。被告を人間と見ていない。」(井垣氏)

「現在の裁判員制度は証拠開示、取調べの可視化が充分でなければ (現在その欠陥をはらんでいる)、冤罪は防げない。~< 略 >~ 証拠開示については検察は出すようになったが、全部洗いざらい開示しなければ集中審理は難しい。」(木谷氏)

以上、簡単ですが、中味の濃い集会の一部報告です。

尚、袴田裁判弁護団による再三の証拠開示請求に対しても検察側は拒否しています。再審の裁判では、検察がそれに応じる義務はないそうです。(全ての裁判に全ての証拠開示をさせる新たな法律ができることが必要なのだと思います。)

さて、2008 年末の段階で死刑廃止国は 138 カ国 (うち事実上の死刑廃止国が 36 カ国) 存置国は日本を含めて 59 カ国となっているそうです。この存置国の中でも 2008 年に実際に執行を行なったのは 25 カ国にすぎないそうです。この数年の間も多くの国が死刑廃止への道を歩んでいますが、それは「死刑に犯罪抑止効果が認められない上に、冤罪の場合はとりかえしがつかず、死刑が権力の恣意的な道具にされてきたことへの反省からです。」と、集会の主催者 (死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム 90) は訴えています。■

「無実の死刑囚を救う」アムネスティのデモに参加しました。

荒井洋子

10 月 10 日夕 6 時、四谷区民会館から新宿中央公園まで、スローガン「無実の死刑囚を救う」のアムネスティのデモに参加しました。

昨年のデモのときに外国人死刑囚のボードを持って歩いたことを思い出し、何の用意もしていなかったのですが、袴田さんのボードを持って参加可能か問い合わせたところ了解が得られました。それで急遽「袴田さんは無実」などの横断幕三枚 (二枚は豊島さんが探したメーカーに校條さんがデザイン・注文し、10 日午前に受け取り、一枚は手製) と、ボード (教会の方たちの協力で五枚、平野さんの手製、福田さんは傘にボードを取り付けた芸術作品 ?) などを持って、豊島さんは仕事帰りで駆けつけ、仲間は四人です。なので参加者の方たちの助けを得て、時々肩すれすれに近づくたくましい男性に護られ？たりしながら新宿の夜の繁華街を、「袴田さんは無実です」とか「FREE HAKAMADA NOW」と知らせて歩きました。多くの方たちの協力で参加出来たデモでした。とくにアムネスティの皆様、いつもありがとうございます。

十年ほど前に袴田さんのために一生懸命尽くされた亡き平野雄三さん達と共に、秋山弁護士の講演の後で、袴田ひで子さん、秋山弁護士、小川弁護士などを先頭に、急に降り出した土砂降り雨の中、びしょぬれになって歩いたデモのことを思い出しました。

何時の日でしょうか、あの故郷の浜北の地に立てるのは、早く立たせてあげたい。■







宗男節が炸裂！救う会公開学習会 PART16

共同代表・福田勇人

「無実の死刑囚・元プロボクサー袴田巖さんを救う会」主催の恒例イベントである公開学習会。今回は「国策捜査と全面可視化の必要性」と題して、何とあの「ムネオハウス」で有名な新党大地代表鈴木宗男衆院議員を講師に迎え、11 月 25 日 (水) 午後 1 時から永田町の衆院第一議員会館で開催されました。

国会会期中で超多忙な中、少々遅刻して宗男さん (なれなれしくてスイマセン) が登場すると、会場を埋めた参加者は大きな拍手で迎えました。

いわゆる政治家は総じて声がデカいんだが、宗男さんの声は更に輪をかけてデカい！マイクなんていりません。外務省の役人がビビるのも無理ないかも知れんなあなどと思いながら、実体験に基づいた警察・検察権力をバッサバッサとぶった切る鋭い批判はいつ聞いても胸が空くようでありました。

講演の冒頭、「袴田さんに一日も早く外の空気を吸わせてあげたい。」と話し、袴田さんと家族の人生を想い涙ぐんだ宗男さん。熱い男なんです。情の男なんです。

「私の政治姿勢が悪いと言って離れていった支持者はいないんです。これだけは私は自信を持ってるんです。」

実に頼もしいじゃないですか。国会で何度も袴田さんに関する質問をしてくれてます。口だけじゃないところもいいじゃないですか。ねえ皆さん。

「袴田さんを釈放させることが政権交代の一つの大きな意味であると思ってますから、あきらめずにがんばりましょう！」

バシッと締めくくってくれた宗男さん。私はイイこと思いつきましたよ。今度相談に行きます！

■

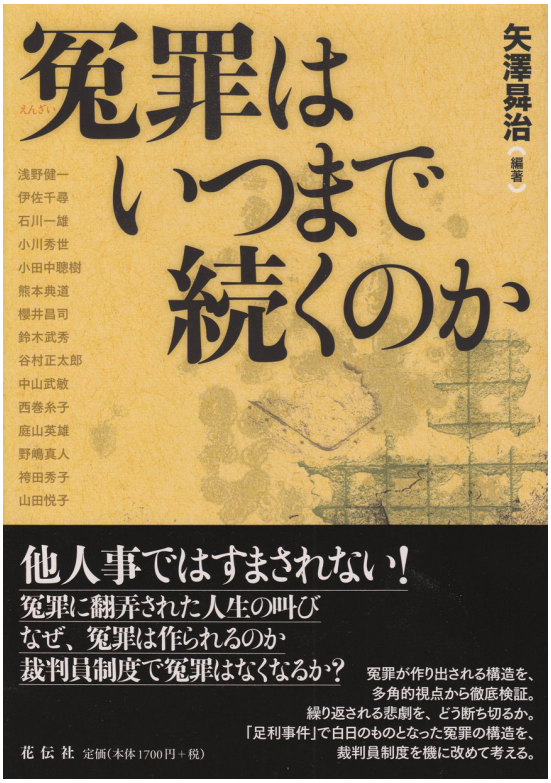


袴田さん救援を熱く語る鈴木宗男衆院議員

書籍紹介

『冤罪はいつまで続くのか』

共同代表・福田勇人



10 月 20 日に花伝社から『冤罪はいつまで続くのか』が出版されました。

弁護士で専修大学法科大学院教授でもある矢澤昇治さんが、専修大学今村法律研究室の室長時代に毎年開催していた、冤罪をテーマにしたシンポジウムの内容をベースにして編纂し、冤罪はなぜ起きるのか、その構造について検証しています。

この本の出版には本会も多少関わらせていただき、3 年前の今村法律研究室シンポジウムで演壇に立った本会鈴木前事務局長のほか、袴田ひで子さん、弁護団の小川秀世弁護士など「袴田事件」関係者の講演録などが載せられています。

また、『さいしん』第 28 号に掲載した足利事件の菅家さんと支援者の西巻さんへのインタビューの様子も、編集されて収められていますので皆さん是非お買い求め下さい！

『冤罪はいつまで続くのか』
矢澤昇治編著・花伝社・本体 1700 円

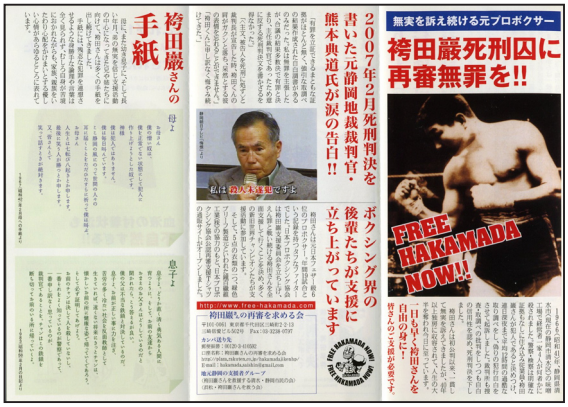
■



新しいリーフレットができました！

（本号に同封してあります）

置いてもらえる所があったら教えて下さい！



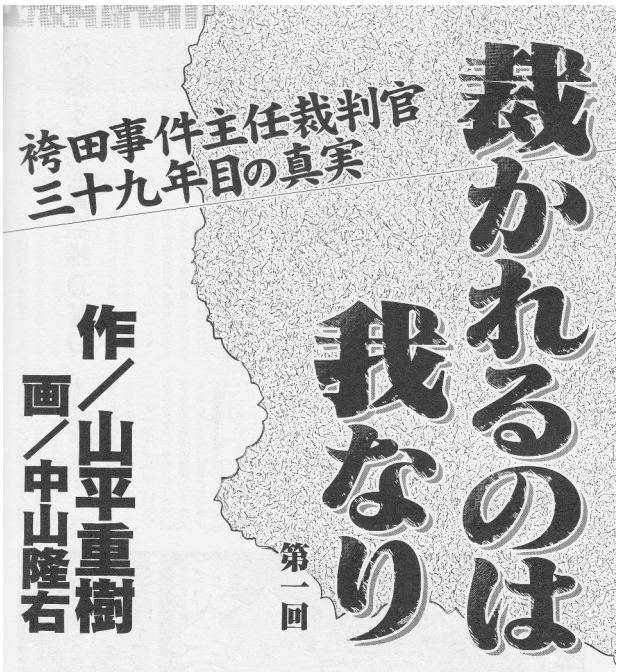


『週刊実話』で袴田事件を題材にした小説が連載開始！

共同代表・福田勇人

『週刊実話』10 月 22 日号から、山平重樹氏によるノンフィクション小説『裁かれるのは我なり～袴田事件主任裁判官三十九年目の真実～』の連載が始まりました。

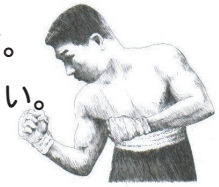
内容は、副題からもわかるとおり、評議で袴田巖さんの無罪を主張しながら多数決で敗れ、自ら死刑判決を書かざるを得なかった熊本典道元裁判官にスポットを当てたものです。皆さん是非ご一読を！■





カンパのお願い

☆会では活動資金が必要です。
☆どうぞカンパにご協力下さい。
☆ボーナスカンパ大歓迎！



郵便振替口座番号：00120-3-410592
口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

または

ゆうちょ銀行 〇一九 店（ゼロイチキュウ店）
当座　019-0410592
口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

※「巖」は「厳」でも大丈夫です。

Free Hakamada Now!!!

www.free-hakamada.com

日本プロボクシング協会公認

袴田巌再審支援Ｔシャツ通販サイト



「俺達が、物事を正すことが出来るんだと、袴田死刑囚に示してあげよう！」
2008 年 1 月 24 日の「袴田巌支援チャリティ BOXING ～ FREE HAKAMADA NOW ～」にメッセージをくれたルービン・ハリケーン・カーターさん。

「Free Hakamada Now !!」（今すぐ、袴田さんを自由に !)。



・・・その願いを込めて KANE100 がオリジナルデザインＴシャツを製作しました。

袴田さんの自由を願う方、ボクシングを愛する方に KANE100 は、品質、デザイン共にナイスフィーリングなＴシャツをお届けします。

支援Ｔシャツの収益は、全て日本プロボクシング協会 袴田巌支援委員会と支援団体に寄付されます。

■企画 / 製造 / 販売
KANE100 CO.,LTD.
鐘百繊維工業株式会社

〒 130-0011
東京都墨田区石原 1-8-1
TEL:03-3625-0231
E-Mail:kane100@kt.rim.or.jp

本会のホームページアドレスが
変更になっています。
http://plaza.rakuten.co.jp/hakamadajikenhp/
ただいまこちらのブログを更新しています。HP のお手伝いをして下さる方がおりましたら、こちらまで。
E-mail：hakamada.saishin@gmail.com

絶対に負けられないYo ！

活　動　報　告

9/28　法務大臣要請行動打合せ (向ヶ丘遊園・笠浩史事務所)
9/29　DNA 鑑定業者訪問 (新大久保・エスアールエル)
9/29　9 条フェスタ準備会議参加 (永田町・参院議員会館)
9/30　袴田さんに面会申込 (小菅・東京拘置所)
10/6　弁護団勉強会参加 (静岡・弁護士会館)
10/6　弁護団会議 (静岡・弁護士会館)
10/7　ボクシング界支援委員会参加 (水道橋・ヴィッキーズ)
10/10 死刑廃止フォーラム集会 & デモ参加 (新宿御苑前・四谷区民ホールほか)
10/12 求める会定例会 (巣鴨・村崎法律事務所)
10/14 法務大臣要請行動打合せ (永田町・松岡徹国会事務所)
10/21 袴田さんに面会申込 (小菅・東京拘置所)
10/24 袴田事件関連映画制作者と会談 (向ヶ丘遊園・サイゼリヤ)
10/28 法務大臣要請行動打合せ (永田町・松岡徹国会事務所)
10/31 JR 浦電事件集会参加 & メッセージ文提供 (日比谷・日比谷公会堂)
11/7　求める会定例会 (巣鴨・村崎法律事務所)
11/11 ボクシング界支援委員会参加 (水道橋・デニーズ)
11/15 9 条フェスタで書籍・T シャツ販売 (蒲田・大田区産業プラザ PiO)
11/17 新田ジム興行でリーフレット配布 (水道橋・後楽園ホール)
11/19 弁護団勉強会参加 (霞が関・弁護士会館)
11/19 弁護団会議参加 (霞が関・弁護士会館)
11/19 法務省要請行動打合せ (登戸・ドトール)
11/21 法務省要請行動打合せ (池袋・ドトール)
11/25 救う会公開学習会参加 & 連帯アピール (永田町・衆院議員会館)
11/26 袴田さん面会同行 (小菅・東京拘置所)
11/26 法務省要請行動打合せ (日比谷・日比谷シティホテルほか)
11/27 法務省要請行動 & 記者会見 (霞が関・弁護士会館ほか)
11/27 狭山事件集会で書籍販売 & デモ参加 (日比谷・日比谷野外音楽堂ほか)
11/29『さいしん』30 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)

活　動　予　定

求める会

12/20 求める会定例会 & 忘年会 (巣鴨・村崎法律事務所ほか)
1/16　求める会定例会 (巣鴨・村崎法律事務所)
1/31　『さいしん』31 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)

その他の団体

12/5　JR 女性連絡会集会 (目黒・目黒さつき会館)
12/6　浜松救援会集会 (浜松・中瀬公民館)
12/9　ボクシング界支援委員会 (水道橋・ヴィッキーズ)
12/5 ～ 14 東アジア死刑廃止大会 (御茶ノ水・明治大学ほか)
12/14 第 2 回三者協議 (静岡・静岡地裁)
12/14 静岡地検・地裁要請行動 (静岡・静岡地検ほか)
12/19 トクホン真闘ジム興行 (水道橋・後楽園ホール)
12/26 弁護団勉強会 (静岡・弁護士会館)
12/26 弁護団会議 & 忘年会 (静岡・弁護士会館ほか)
1/24　清水救援会集会 (清水・清水テルサ)

☆少しでも広めて下さい！☆

◇力をかしてして下さい◇

★カンパをお願いします！！！★

編集後記

鐘百さんの「Free Hakamada Now !!」T シャツを着てくれているチャンピオン内藤大助選手が、この「さいしん 30 号」の発送作業を終えた後に、亀田興毅選手と世界戦をやる。結果がどうなるにせよ、ボクシングとしていい試合になることを願ってやまない。欲を言えば、内藤選手も亀田選手も「Free Hakamada Now !!」T シャツを着てリングに上がってくれないかなぁ…。絶対に負けられないのだから。（ペンネーム zan）

Free Hakamada Now!!!